

# 〔「地産地消型バイオマス利活用の推進と地方創生待機児童対策に関する連携協定」(コマツ・石川県・石川県森林組合連合会)〕

## 課題（状況）



- （課題）
  - ・バイオマス利活用のための利害関係者の共助体制構築
  - ・チップの供給量、消費量、供給単価に関する当事者間の事前合意形成
  - ・エネルギー利用効率が高く投資回収性が良好な設備の開発・導入

## 目標



- ・無価値な間伐材を活用した地域林業活性化
- ・コマツ工場内の省エネ、二酸化炭素排出量削減
- ・県内の大雨時の災害防止と林業振興、里山保全、環境改善
- ・地域の2次産業（中小機械産業）の活性化
- 木材生産量の増加、地域内産業全体の振興
- ・地産地消型バイオマス循環サイクル活動を地方創生に繋げる

## 地域資源/産学連携等



- ・コマツ、石川県、県森林組合連合会による「林業に関する包括連携協定」締結
- ・コマツ・エルダー社員の経験・知識の活用

## 政策（補助金等）/規制

- ・林野庁「森林整備加速化・林業再生事業」補助金認定

## 具体的な取組内容

- ・コマツ、石川県、県森林組合連合会による「林業に関する包括連携協定」締結(2014年2月)
- ・「かが森林組合」によるチップ化事業と県による設備導入支援
- ・チップ製造設備（チッパ機）を県内機械製造業者が開発・納入
- ・コマツにおけるバイオマス温水ボイラ設置(2014年4月)、バイオマス蒸気ボイラシステムの開発・導入(2015年4月)
- ・バイオマス運用に関するチップの供給量、単価、利益還元額の合意
- ・地元用材の需要拡大による木材生産量の拡大

## 成功要因

- ・企業・自治体・森林組合の三者一体の取り組みが、それぞれWIN-WINの関係となり、事業全体が継続発展のスキームで構成
- 企業の大規模工場を核として自治体・森林組合が連携し木材資源を活用するモデルケースを構築
- 事業当事者にとどまらず、地域の二次産業活性化、木材生産量の拡大、山林の災害防止等にも貢献

## 成果

- ・コマツにおける省エネ、購入電力量削減等運用体制確立と地域の環境改善、地域林業振興等の継続実施が実現
- ・未利用間伐材の計画的回収と災害軽減による、森林所有者や林業者等の森林整備意欲の向上
- ・コマツにおける地元用材の活用、アピールによる「かが杉」需要拡大

## 地域の変化

- ・地産地消型バイオマス循環サイクル活動を通じた、地方創生の体制が県内で確立
- ・地元業者との連携、産官連携による地域産業全体の活動参画が進む

## 残る課題

- ・地産地消型バイオマスを核に県全体の林業の循環サイクルを再整備し、地域活性化を促進

## 次の行動

- ・同様の取組の県内での展開・普及
- ・コマツにおける熱利用効率の更なる改善